

# よしおら

市民の動き  
(9月1日現在)  
男... 46,486  
女... 45,889  
計... 92,375  
世帯数21,401

写真展の公募  
要綱をきまる  
搬入は10月1日

第五回吉原市写真展は  
次のように行なわれること  
になりました。

- ◇会期は 昭和四十一年十月二十八日から三十一日まで
- ◇会場は 市民会館 第一集會室
- ◇応募資格は 小学生以上の市内に住所または勤め先(市内の学校に在学しているひとも含む)のあるひと
- ◇種別は 白黒写真、またはカラープリント
- ◇大きさは 一般は四ツ切以上。小中、高校生はキヤビネ以上(ただし単写真に限る)
- ◇出品制限は 一人三点以内
- ◇出品票は 市教育委員会にありませす
- ◇搬入は 昭和四十一年十月一日午前八時から午後七時まで。市立体育館で

...明るい家庭に  
よい子が育つ...  
第3日曜日(10月16日)  
家庭の日

## 併 合 すべて協議事項がきまる

岳南2市1町合併促進協議会(会長齊藤吉原市長)の第14、15回全体協議会=9月14、16日鷹岡公民館で開催で、残されていた新市の名称、庁舎の位置、継続事業費の配分率、議員の任期など重要案件が全員一致で承認されましたので、ここに促進協議会発足から1年9カ月ぶりに、合併事項のすべてがきまりました。これにもとづき、合併事務局が9月19日、県知事へ合併内談書を提出し、知事の審査をうけたのち、自治省へ内

示申請しました。この結果、9月21日自治省から「合併に異議なし」旨の内示が吉原市長、富士市長、鷹岡町長にありましたので、近く(9月26~29日ごろ)2市1町が同時に議会を召集して、「11月1日」の合併を議決し、9月30日から開かれる県議会へ本協議書を提出することになっています。県議会が承認されれば自治大臣へ届出を行ない、その告示をまつて、新しい「富士市」が11月1日に誕生します。

### 新市名は 富士市に

合併促進協議会で議決  
新市名は「富士市」に決まりました。富士山の南麓は昔からと総称されているように一つの行政区画であつたばかりではなく「富士」の名は世界的に知られています。また、富士山の豊富な水資源を活用して日本でも有数の製紙工業地帯として栄えてきました。このように、当地区は物心両面に富士とは有る形無形の深い関連をもつて伸展してきたので、地域住民を総括する公称として新市名を「富士市」と決定したわけでは

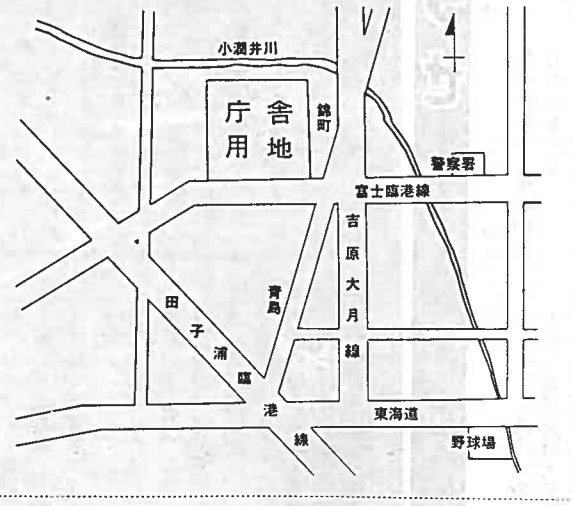
◇市名選定の理由  
新市名は「富士市」に決まりました。富士山の南麓は昔からと総称されているように一つの行政区画であつたばかりではなく「富士」の名は世界的に知られています。また、富士山の豊富な水資源を活用して日本でも有数の製紙工業地帯として栄えてきました。このように、当地区は物心両面に富士とは有る形無形の深い関連をもつて伸展してきたので、地域住民を総括する公称として新市名を「富士市」と決定したわけでは

◇議員の任期  
議会の議員の任期は合併特別法で昭和四十二年四月三十日までの六カ月間と決まりました。これは昭和四十二年度予算を編成するまで、合併にたずさわつた議員が新市をまもり、以後は新しい議員を選出することになりました。現在二市一町の議員数は、吉原市三三人

継続事業の配分率  
吉原 54・0%  
富士 36・9%  
鷹岡 9・1%

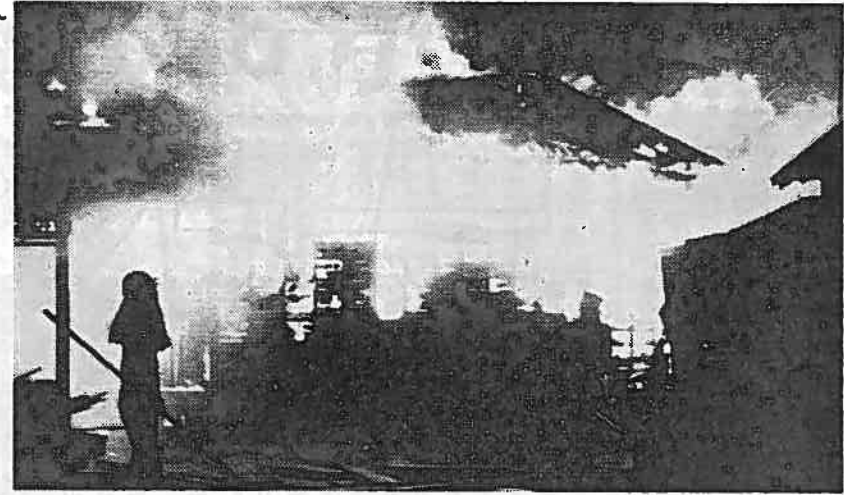
財政面でも昭和四十二年度の歳入歳出見込みは三億八〇〇万円と大規模なものになり、県下有数の都市になるわけですから、

新庁舎は 錦町へ...  
総事業費10億円  
庁舎の位置は吉原市大字永田地先(別図)に決まりました。  
庁舎用地は二六四〇〇平方(八〇〇〇坪)くらいで、建物の規模は地上五階、地下一階の鉄筋コンクリートづくりで、総事業費は一億二六〇〇万円の予定です。  
なお、交通機関については循環バスの運行などを考慮しています



お願い  
○市議会が二市一町の合併が議決され次第、合併特選号を発行して、くわしいことをお伝えしますので、ご覧になつてくださいます。

### 火災 ひんぴん



「〇〇町に火災が発生しました」九月にはいつて火災をつげる無線放送の回数が急にふえています。そのはず二〇日間に七件という九月火災では消防署は

じまつていらひのありがたない記録。消防署の調べによれば、泉製紙、日本クラフト、日通倉庫など六件の始末には十分気がつけてください。

### 出生率

◆出生率  
県では、このほど昭和四十一年度上半期(一月から六月)の人口動態調査の結果を発表しました。それによると、昨年とくらべてとくに注目されるものに①出生率は大幅に減つてきた②死亡率が少なくなつてきた③結婚数が少なくなつてきた、の三点があげられています。静岡県の出産率は、昭和三十七年まで急速に低くなつてきたが、その後は横ばい状態をつづけてきました。ところが、この急激に減少してきました。これを数字でみてみると、ことしの上半期の出生率は一九〇・三八人で、昨年とくらべて八八・五〇人、率にすると三一・七%少なくなつています。人口一〇〇〇人当りの出生率も一三・一となり、戦前戦後を通じて最低の記録を示しています。この傾向は全国的なもので、全国の出生率も昨年にくらべてだいたい三〇%弱の減少を示しています。このような減少ぶりには

◆死亡数  
死亡者数は一〇一七一人で、昨年にくらべると一〇七人少なくなつています。昨年二月から三月にかけてインフルエンザが流行したため死亡数が増加しましたが、ことしは人口一〇〇〇人当りの死亡率は七・〇で昭和三十九年の七・二を下回り県下最低の記録を示しました。

◆結婚・離婚数  
結婚数は適令人口の増加で年々上昇していましたが、ことしに入つて一五六四九組と昨年にくらべて四五四組少く、率にして四%の減少を示しています。しかし、月別にみると一日から三月までは少なくなつていますが、四月から六月にかけては昨年を上回っています。なお、離婚数は一〇六八組と昨年より六八組、率にして六・八%多くなつています。

### 出生率が減少 上半期・県内の人口動態

これを原因別にみてみますと、脳卒中が二七五八人で第一位を占め、次がガンの一三三六人、心臓病の一三二二人、老衰の七五二人、不慮の事故六四一人の順となつており、相変らず成人病が上位を占めています。このうちとくに目立つのは、早期発見、早期治療が強く望まれるガンや社会問題となつている交通事故死が増加していることです。ガンは昨年の三位から二位、事故死は六位から五位になつています。